国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau

Press release

令和3年6月14日14時00分
資料配布　近畿地方整備局

# 産・学・官で連携し業務・研究等の成果を発表します

～　6月24、25日　近畿地方整備局研究発表会をオンライン開催　～

近畿地方整備局では、日頃の業務・研究等の成果を発表する場として「研究発表会」を令和3年6月24日（木）、25日（金）に開催します。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めるため、WEBにより配信します。
研究発表会は昭和25年（1950年）から始まり、今回が71回目の開催となります。

【主な内容】

○研究発表会　7部門112課題がエントリー
（整備局63課題、自治体24課題、他省庁・法人等17課題、民間8課題）

○職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会
（令和3年6月25日（金）10:50～15:00）

○特別講演
前 十津川村長　更谷（さらたに）　慈禧（よしき）　氏
『紀伊半島大水害から10年　復旧・復興を振り返る』
（令和3年6月25日（金）15:20～16:10）

【開催日時】　令和3年6月24日（木） 9:40～17:10
令和3年6月25日（金） 9:40～17:10

【視聴方法】　近畿地方整備局研究発表会ホームページアドレスよりリンク
https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/index.html

※取材について
会場でのカメラ撮影は開会あいさつ、審査結果発表・講評・閉会あいさつのみ可能です。それ以外は上記視聴方法により、取材をお願いします。
会場での取材対応を希望される方は、電子メールまたは末尾の別紙登録用紙にご記入のうえFAXにてご連絡いただきますようお願いします

＜取扱い＞　――――――――

＜配布場所＞　近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

＜問合せ先＞　近畿地方整備局
企画部　技術調査課　課　　長　田中（たなか）　克己（かつみ）（内線3251）
課長補佐　菅沼（すがぬま）　幸江（ゆきえ）（内線3252）
TEL：06-6942-1141（代表）　06-6942-3826（直通）　FAX：06-6942-7825

# 「近畿地方整備局研究発表会」の開催について

【開催概要】

| | |
|---|---|
| 主　　　　　催 | 国土交通省　近畿地方整備局 |
| 開　催　日　時 | 令和３年６月２４日（木）　９：４０～１７：１０<br>令和３年６月２５日（金）　９：４０～１７：１０ |
| 発 表 課 題 数 | 一般部門（安全・安心）Ⅰ　１７課題<br>一般部門（安全・安心）Ⅱ　１８課題<br>一般部門（活力）　１５課題<br>イノベーション部門Ⅰ　２１課題<br>イノベーション部門Ⅱ　２０課題<br>アカウンタビリティ・行政サービス部門　１７課題<br>ポスターセッション部門　4課題<br>（７部門　１１２課題）<br>※整備局:63 課題,自治体:24 課題,他省庁・法人等:17 課題,民間:8 課題 |
| 発表プログラム | 【別紙１】「令和３年度 近畿地方整備局研究発表会　プログラム」参照 |
| 職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会 | 近畿地方整備局若手職員の企画力や構想力向上を目的に、インフラ整備やまちづくりについて、日頃抱いている「ゆめ」を発表します。<br>■日時　令和３年６月２５日（金）１０：５０～１５：００ |
| 特　別　講　演 | ■日時　令和３年６月２５日（金）１５：２０～１６：１０<br>■演題　「紀伊半島大水害から１０年　復旧・復興を振り返る」<br>■講師　前 十津川村長　更谷（さらたに） 慈禧（よしき）　氏 |
| 視　聴　案　内 | 〇研究発表会ホームページアドレスよりリンク<br>http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/index.html<br><br>【問い合わせ先】<br>近畿地方整備局　企画部　技術調査課　田中、菅沼<br>〒540-8586　大阪市中央区大手前 1-5-44　大阪合同庁舎１号館<br>TEL　06-6942-1141（内 3251、3252）　FAX　06-6942-7825<br>メールアドレス　kkr-kinki-happyou@mlit.go.jp |

別紙1

# 令和３年度 近畿地方整備局研究発表会 プログラム

［ 開　催　日 ］令和３年６月２４日（木）～２５日（金）
［ 開 催 場 所 ］WEB配信

【全体プログラム】

| 月　日 | 時 間 割 | 区　分 |
|---|---|---|
| 6月24日（木） | 9:40～9:50 | 開会あいさつ |
| | 10:00～12:00 | 各部門論文発表 |
| | 12:00～13:00 | 《昼食・休憩》 |
| | 13:00～15:00 | 各部門論文発表 |
| | 15:00～15:10 | 《休憩》 |
| | 15:10～17:10 | 各部門論文発表 及び ポスターセッション |
| 6月25日（金） | 9:40～10:40 | 各部門論文発表 |
| | 10:50～11:30 | 職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会 |
| | 11:30～13:10 | 《昼食・休憩》 |
| | 13:10～15:00 | 職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会 |
| | 15:00～15:20 | 《休憩》 |
| | 15:20～16:10 | 特別講演 |
| | 16:10～16:20 | 《休憩》 |
| | 16:20～16:40 | 審査結果発表 |
| | 16:40～17:00 | 講評 |
| | 17:00～17:10 | 閉会あいさつ |

※職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会は近畿地方整備局職員による発表となります。

【発 表 課 題 数】

| 部門名 | 発表論文数 |
|---|---|
| 一般部門（安全・安心）Ⅰ | 17課題 |
| 一般部門（安全・安心）Ⅱ | 18課題 |
| 一般部門（活力） | 15課題 |
| イノベーション部門Ⅰ | 21課題 |
| イノベーション部門Ⅱ | 20課題 |
| アカウンタビリティ・行政サービス部門 | 17課題 |
| ポスターセッション部門 | 4課題 |
| | 112課題 |

**特別講演**　日時：6月25日（金）15:20～16:10

## 『紀伊半島大水害から10年　復旧・復興を振り返る』

**前 十津川村長　更谷　慈禧**

近年自然災害が激甚化・頻発化するなか、十津川村が経験した紀伊半島大水害からの10年を振り返る。日本各地で発生する自然災害やコロナ禍により、見直されつつある地方の生活。国土を強靭化するための社会資本整備はまだまだ必要。

更谷　慈禧（さらたに　よしき）
1947年十津川村生まれ。1969年大阪工業大学卒。民間会社に勤務後、1972年に帰村、家業の林業に従事し製材業も手がける。1993年十津川村助役。2001年4月十津川村長初当選から5期20年を務め、2021年4月任期満了を迎え退任。

# 一　般　部　門　（　活　力　）

※1 連名の内、○付は発表予定者

| No. | 日・時間 | | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目<br>6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 河道内樹木伐採とバイオマス発電事業との連携について | 姫路河川国道事務所 | 河川管理第一課 | 田中 稜也 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | 太平洋岸自転車道整備における取り組みについて | 紀南河川国道事務所 | 道路管理課 | 岩本 明久<br>○ 中村 駿太 |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | 天ヶ瀬ダム湖における船舶通航制限の緩和について | 淀川ダム統合管理事務所 | 防災情報課 | 山口 泰久 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | 新しい生活様式をふまえた住民連携の取り組みについて<br>ー淀川管内河川レンジャーにおけるwithコロナー | 淀川河川事務所 | 管理課 | 平尾 和彦<br>○ 松田 康照 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 木津川上流河川事務所における魚道の簡易改良とモニタリング調査結果について | 木津川上流河川事務所 | 調査課 | 大橋 亮一郎 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | 奈良公園植栽計画について | 奈良県 | 奈良公園室 | 関谷 安里紗 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 防波堤の石や砂から「あつまれ　生き物の浜」ができるまで<br>～小学生が描いた干潟が完成～ | 港湾空港部 | 港湾計画課 | 神足 美友 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | 南芦屋浜における高潮対策事業について | 兵庫県阪神南県民センター 尼崎港管理事務所 | 高潮対策推進課 | ○ 藤原 雄介<br>江崎 賢一 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | ひょうごの景観ビューポイント150選の取組<br>―クラウドファンディングを活用した発展的景観まちづくり― | 兵庫県県土整備部まちづくり局 | 都市政策課<br>景観形成室 | ○ 福池 章平<br>八幡 竜介 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | 地域間産業連関表による本四高速道路の経済効果分析 | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 企画部 経済調査課 | 小山 智<br>○ 片山 雄也 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 開通後1年を迎えた淡路北スマートICの利用状況について | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 企画部 企画課 | 山本 大道 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | 都市部国有林の森林整備に関する提言 | 近畿中国森林管理局 | 兵庫森林管理署神戸森林事務所<br>神戸治山事業所 | ○ 貫井 洋介<br>山本 康二 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 足羽川ダム建設事業におけるインフラツーリズムの取り組みについて | 福井河川国道事務所<br>足羽川ダム工事事務所 | 総務課<br>工事課 | ○ 前田 祐希<br>大石 直輝 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 笹生川ダムにおける歴史と文化の発掘 | 福井県工業技術センター | 建設技術研究部 | 久保 光 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | 公共空間の占用に関する法制度の活用について<br>～2040年 道路の景色を変えるために～ | 高槻市 | 都市創造部都市づくり推進課 | 加藤 圭二 |

# 一般部門（安全・安心）Ⅰ

※1 連名の内、○付は発表予定者

| No. | 日・時間 | | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 予防保全にむけた橋梁の長寿命化修繕計画策定について | 建政部<br>近畿道路メンテナンスセンター | 建築安全課<br>技術課 | ○ 坂本 千秋<br>増田 寛四郎 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | 車載カメラを用いた道路状況の確認システムの試行導入について | 道路部<br>枚方市役所 | 道路工事課<br>土木部 道路河川整備課 | ○ 川嶋 智和<br>宮内 新太郎 |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | 関西国際空港における特定天井改修工事について | 関西エアポート株式会社 | 建築技術部<br>関空建築グループ | 石田 和泰 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | 大阪国際空港ターミナル 周辺道路の混雑対策および安全強化の取り組み | 関西エアポート株式会社 | 伊丹空港本部 基盤技術部 | 市瀬 友啓 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 誤分岐対策に着目した環状道路の案内標識等の改善について | 阪神高速道路株式会社<br>管理本部 | 大阪保全部 保全管理課<br>保全交通部 交通技術課 | ○ 兒玉 崇<br>玉川 大 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | 河川の維持管理に有効な新手法<br>～高精度UAVと測深ボートの活用～ | 株式会社アース・アナライザー | | 荒木 寿徳 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 水海川導水トンネルにおける脆弱地山及び湧水への対策・対応について | 足羽川ダム工事事務所<br>株式会社安藤・間 | 工事課<br>水海川トンネル作業所 | ○ 上田 千尋<br>中西 大介 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | 有本揚排水機場ポンプ設備の不具合事例とその対応について | 和歌山河川国道事務所 | 防災課 | 橋本 大空 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | UAVを用いたレベル3飛行（目視外補助者無し飛行）による河道閉塞および砂防施設の点検・調査活用について | 大規模土砂災害対策技術センター<br>長野県 姫川砂防事務所 | 砂防課 | ○ 北本 楽<br>柴田 俊 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | 大阪湾岸道路西伸部事業におけるCIMの取組状況について | 浪速国道事務所 | 大阪湾岸道路整備推進室 | ○ 村田 大輔<br>橘 和樹 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 琵琶湖の鴨川河口における湖岸保全対策について | 滋賀県 高島土木事務所<br>滋賀県 長浜土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防課 | 中西 宣敬<br>○ 森 亮希 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | 国道477号琵琶湖大橋東詰交差点における渋滞対策について | 滋賀県道路公社<br>滋賀県甲賀土木事務所 | 道路整備課 | ○ 川口 直哉<br>奥山 善之 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 低水放流設備副バルブ整備における施工計画検討 | 独立行政法人水資源機構<br>琵琶湖開発総合管理所 | 機械課 | 笠原 諭 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 国道168号長殿道路整備における河川内工事の工夫について | 奈良国道事務所 | 工務課<br>橿原維持出張所 | 梶田 和希<br>○ 辻 茉莉 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | 河川災害復旧工事（十津川村）について | 奈良県中和土木事務所 | 工務課 | 中澤 亮 |
| 16 | | 16:10 ～ 16:30 | アーチダムの基礎排水孔の機能回復について | 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 | 高山ダム管理所<br>青蓮寺ダム管理所 | ○ 角田 康祐<br>鍵田 和彦 |
| 17 | | 16:30 ～ 16:50 | 鋼床版デッキプレートUリブ部腐食の調査及び補修について～古川高架橋～ | 京都国道事務所<br>姫路河川国道事務所 | 管理第二課<br>調査課 | 福井 雄一<br>○ 十川 絵理 |

# 一　般　部　門　（　安　全　・　安　心　）　Ⅱ

※1 連名の内、○付は発表予定者

| No. | 日・時間 | | 論文名 | 論文作成者　所属 | | 氏　　名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 雪害対策時における災害対策業務の効率化について | 福井河川国道事務所 | 敦賀国道維持出張所 | 酒井　伊吹 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | 都市計画道路　東中央線の開通について | 京都府山城土木事務所<br>京都府建設交通部 | 道路計画課<br>道路建設課 | ○ 藤本　恭一<br>木村　俊之 |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | 雨水貯留施設（貯留管）の整備について | 宇治市 | 建設部雨水対策課<br>都市整備部開発指導課 | ○ 田村　諭<br>今井　瑛介 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | 地域の水害リスクを踏まえた実践的な防災支援の実施 | 紀南河川国道事務所 | 調査課 | 玉木　秀幸<br>○ 露峰　渓 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 職員の防災力向上に向けた事務所版タイムラインの取組について | 琵琶湖河川事務所<br>水管理・国土保全局 | 調査課<br>河川計画課 | ○ 岡田　大<br>猪飼　一貴 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | 都市型河川である一級河川米川の治水安全度向上に向けた取り組みについて | 公益財団法人滋賀県建設技術センター<br>滋賀県長浜土木事務所 | 技術課<br>河川砂防課 | ○ 石谷　貴英<br>門脇　広和 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 降雪時における広報について | 道路部 | 道路管理課 | ○ 名嘉　雅哉<br>田中　亮志 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | 一庫ダムにおける洪水調節機能の強化に向けた取り組み | 独立行政法人水資源機構<br>一庫ダム管理所 | | 川上　貴宏 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | ダム管理における流出予測システムの精度向上に向けた一考察 | 独立行政法人水資源機構<br>関西・吉野川支社淀川本部 | 施設管理課 | 陶山　武士 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | マンホールが飛んだ豊岡総合庁舎地下貯留施設に学ぶ<br>－雨水貯留浸透施設整備における注意点－ | 兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所 | 竹野道路課 | 髙松　綾子 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 遠隔臨場システムを活用した掘進長の確認（試行）について<br>～砂防事業の生産性向上に向けた取り組み～ | 六甲砂防事務所<br>株式会社日本インシーク | 調査課<br>防災インフラ事業部　地盤調査部 | ○ 山崎　卓也<br>宮下　洋史 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | 災害時における自治体とのリモート会議の開催による迅速な情報共有の開始について | 淀川河川事務所 | 調査課 | 佐藤　昭史 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 早期・高精度の水位予測情報の発信に向けた河川氾濫予測システムの改良 | 兵庫県県土整備部土木局 | 河川整備課 | 阿山　佳樹 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 既存ダムの活用による事前放流の拡大について | 兵庫県県土整備部土木局 | 河川整備課 | 濃野　大地 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | 神戸港における陸閘の遠隔操作・監視化の推進 | 神戸市港湾局 | ウォーターフロント<br>再開発推進課 | 大待　達郎 |
| 16 | | 16:10 ～ 16:30 | 360度動画による土砂災害警戒区域認知度向上の取り組み | 和歌山県 | 土砂災害啓発センター | ○ 岸畑　明宏<br>筒井　和男 |
| 17 | | 16:30 ～ 16:50 | 小学1・2年生や園児への土砂災害学習の取り組み | 和歌山県 | 土砂災害啓発センター | ○ 坂口　隆紀<br>宮﨑　徳生 |
| 18 | | 16:50 ～ 17:10 | 国営総合農地防災事業「和歌山平野地区」における排水管理施設の構築に向けた排水管理指標の検討 | 近畿農政局<br>和歌山平野農地防災事業所 | 工事第三課 | 原島　崇聡 |

# イ ノ ベ ー シ ョ ン 部 門 Ⅰ

※1 連名の内、○付は発表予定者

| No. | 日 | 時間 | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 国道42号における3次元数値地形図の活用について | 和歌山河川国道事務所 | 計画課 | 宮原 康佑<br>○ 増田 拓海 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | i-constructionを活用した由良川緊急治水対策事業での取り組みについて | 福知山河川国道事務所 | 工務第一課 | 南方 良太 |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | 三次元管内図の整備および利活用について | 福知山河川国道事務所 | 調査課 | ○ 谷河 澪<br>井上 恭介 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | UAV汎用機での撮影画像を利用した橋梁上部工の出来型計測 | 福井河川国道事務所<br>道路部 | 嶺北国道維持出張所<br>道路工事課 | ○ 幸丸 竜也<br>浦本 康仁 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 新技術ドローンによる橋梁点検の実践について | 株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク | 事業推進部 建設・土木担当 | ○ 岡森 駿<br>堀越 順太 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | 新宮道路におけるBIM/CIM対応を見据えた3次元地形測量の標準化について | 紀南河川国道事務所<br>企画部 | 工務第二課<br>企画課 | ○ 岩原 歩<br>今城 由貴 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 一般走行車両のビッグデータを活用した路面性状把握技術について | 朝日航洋株式会社 | 商品企画部 | ○ 及川 大輔<br>三上 裕輝 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | トンネル工事におけるWEB会議システムを活用した遠隔岩判定の試行について | 株式会社大林組 | 大阪本店 | ○ 柏原 宏輔<br>玉野 達 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | 高田土木事務所におけるドローンの活用報告 | 奈良県吉野土木事務所 | 工務第二課 | 斉藤 航大 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | ICTを活用したダム施工監理の効率化 | 独立行政法人水資源機構<br>川上ダム建設所 | 工事課 | 渡邊 峻 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 画像認識技術を活用した浸水把握システムの実証の取組について | 福知山河川国道事務所 | 綾部国道維持出張所 | 梶本 秀樹 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | UAV搭載型レーザスキャナを活用した砂防堰堤の設計について | 和歌山県県土整備部<br>株式会社日進コンサルタント | 砂防課<br>設計課 | ○ 西嶋 権<br>野村 雅俊 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 北近畿豊岡自動車道における3次元地形測量の取り組みについて | 豊岡河川国道事務所 | 計画課 | 野瀬井 雅徳 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 後工程に活用できるBIM/CIM構築に向けた取り組みについて | 豊岡河川国道事務所 | 工務第二課<br>工務第一課 | ○ 大橋 幸一郎<br>井上 愛之 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | ロボット除草機による堤防除草の効率化について | 淀川河川事務所 | 調査課 | 今吉 紘頌 |
| 16 | | 16:10 ～ 16:30 | 3次元点群データを用いた森林管理 | 近畿中国森林管理局 | 森林技術・支援センター | 坪倉 真 |
| 17 | | 16:30 ～ 16:50 | ETC2.0を活用した新型コロナ禍における道路交通への影響の把握について | 道路部<br>一般社団法人システム科学研究所 | 道路計画第二課<br>調査研究部 | ○ 小山 基史<br>金崎 智也 |
| 18 | | 16:50 ～ 17:10 | AI(人工知能)技術を活用した河川監視の高度化に向けた取り組みについて(中間報告) | 河川部 | 河川計画課 | 平山 岳弥 |

| No. | 日 | 時間 | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 第2日目 6月25日（金） | 9:40 ～ 10:00 | 河川堤防維持管理におけるリモートセンシング技術の活用可能性の検討について | 姫路河川国道事務所 | 調査課 | 櫻澤 崇史 |
| 20 | | 10:00 ～ 10:20 | 道の駅を拠点とした自動運転サービス実証実験について | 滋賀国道事務所 | 管理第二課 | 堀家 裕子 |
| 21 | | 10:20 ～ 10:40 | ネットワーク型RTK法による境界杭の復元について | 独立行政法人水資源機構<br>琵琶湖開発総合管理所 | 用地保全課 | 山岡 夕紀 |

# イノベーション部門 Ⅱ

※1 連名の内、〇付は発表予定者

| No. | 日 | 時間 | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 国道176号名塩木之元電線共同溝における低コスト手法の導入について | 兵庫国道事務所 | 工務第一課 | 権藤 拓洋 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | 環境に配慮した土留材の引き抜き工法について | CPA西技術士事務所 | | 西 靖彦 |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | 環境に優しく防災に強い！港湾構造物におけるリサイクル骨材の適用促進への挑戦 | 神戸港湾空港技術調査事務所 | 設計担当 | 千葉 大輝 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | 鉛を含む塗膜の素地調整工法について | 宝塚市役所 都市安全部 | 道路管理課 | 石川 滉太 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 地理情報システムを活用した建設型応急住宅の建設地選定の迅速化について | 兵庫県北播磨県民局加東土木事務所 | まちづくり建築課 | 岩﨑 翼 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | 和歌山下津港海岸の津波対策事業における被覆材への人工石活用について | 和歌山港湾事務所 | 海岸課 | 清水 恭平 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 瀬田川洗堰管理制御処理設備の課題解決に向けた検討について | 琵琶湖河川事務所<br>京都国道事務所 | 管理課<br>管理第二課 | 〇 名坂 純哉<br>嶋田 幸平 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | すさみ串本道路における生産性向上の取り組み<br>～遠隔臨場やCo覆工自動打設～ | 京都国道事務所<br>琵琶湖河川事務所 | 京都第一出張所<br>工務課 | 笹嶋 和彦<br>〇 井出 善太 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | 建設発生土の築堤材への有効活用について | 福知山河川国道事務所 | 計画課 | 土井 美里 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | 排水樋門の扉体修繕に関するコスト縮減事例の紹介 | 京都国道事務所 | 管理第二課 | 森脇 茂樹 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 河川堤防の植生転換による堤防植生機能確保とコスト縮減の取り組み | 近畿技術事務所 | 品質調査課 | 山崎 裕治 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | 鉄道アンダーパス部におけるパイプルーフ工法の施工について | 姫路河川国道事務所 | 工務第二課 | 山本 歩 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 国立国会図書館関西館の書庫棟における空調設備設計について | 営繕部 | 整備課 | 大西 功一 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 堺泉北港における産業関連副産物の実証試験について | 港湾空港部 | 海洋環境・技術課 | 宇野 健司<br>〇 杉田 徹 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | 超軟弱粘土層へ打設する鋼管矢板の施工時の安定対策について | 大阪港湾・空港整備事務所 | 第一建設管理官室 | 大住 俊揮 |
| 16 | | 16:10 ～ 16:30 | 真空井戸を用いた真空圧密「BOLVAC工法」について | 株式会社大林組 | 技術研究所 | 〇 高橋 真一<br>梅原 由貴 |
| 17 | | 16:30 ～ 16:50 | ジェットフローゲート水密性能向上における一考察<br>～シールリング形状に着目して～ | 独立行政法人水資源機構<br>下久保ダム管理所 | 管理班 | 下園 英世 |
| 18 | | 16:50 ～ 17:10 | IRIワイヤレス路面測定技術～ACTUSによる路面モニタリング～ | 株式会社ニュージェック | 道路グループ（大阪）<br>道路グループ（九州） | 〇 中園 康平<br>原田 秀敏 |

| No. | 日 | 時間 | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 第2日目 6月25日（金） | 9:40 ～ 10:00 | 保安林整備事業における丸太筋工の改良による負担軽減の取り組みについて | 近畿中国森林管理局 | 治山課 | 橋本 徹 |
| 20 | | 10:00 ～ 10:20 | ダム・河川向け水中地形および堆砂状況の自動計測技術について | 古野電気株式会社 | 技術研究所 第一研究部 知能制御研究室 | 〇 前田 文孝<br>今坂 尚志 |

# アカウンタビリティ・行政サービス部門

※1 連名の内、○付は発表予定者

| No. | 日・時間 | | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏 名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 10:00 ～ 10:20 | 国道8号野洲栗東バイパス 栗東第二IC付近の工事における渋滞対策及び戦略的広報 | 滋賀国道事務所 | 計画課 | 柴田 真次 |
| 2 | | 10:20 ～ 10:40 | 一般県道木部野洲線における神社およびお墓の移設について | 滋賀県南部土木事務所 | 道路計画第二課 | 吉村 まりな |
| 3 | | 10:40 ～ 11:00 | コロナ禍における若年層に訴える防災啓発の手法について | 豊岡河川国道事務所 | 総務課 | ○ 安形 恭喜<br>上田 智宗 |
| 4 | | 11:00 ～ 11:20 | 水害に備え住民が自ら考え実践する避難のあり方に関する行政支援について | 豊岡河川国道事務所 | 調査課 | ○ 小菅 圭一朗<br>上田 智宗 |
| 5 | | 11:20 ～ 11:40 | 取得補償を行った立木の取扱いについて | 豊岡河川国道事務所 | 用地第二課<br>用地第一課 | 半下石 覚<br>○ 朴 文惠 |
| 6 | | 11:40 ～ 12:00 | ワイヤロープウインチ式開閉装置の訓練用教材について | 近畿技術事務所 | 技術活用・人材育成課 | 寺田 一秋 |
| | | 12:00 ～ 13:00 | 昼休み | | | |
| 7 | | 13:00 ～ 13:20 | 機械工事における建設現場の遠隔臨場に関する取組について | 淀川河川事務所 | 施設管理課 | 中塚 航平 |
| 8 | | 13:20 ～ 13:40 | 紀南若手広報チームにおけるSNSを活用した戦略的な広報活動について | 港湾空港部 | 港湾計画課 | 金澤 功樹 |
| 9 | | 13:40 ～ 14:00 | 共有物分割請求訴訟による用地取得について | 足羽川ダム工事事務所<br>兵庫国道事務所 | 用地課<br>用地課 | ○ 村尾 悠斗<br>柴野 将輝 |
| 10 | | 14:00 ～ 14:20 | 不法占用解決に向けた様々な手法による取組事例 | 猪名川河川事務所 | 占用調整課 | ○ 山本 紗也<br>岡野 洋人 |
| 11 | | 14:20 ～ 14:40 | 都心部の工事での広報事例について | 大阪国道事務所 | 施設管理課 | 星田 慎一 |
| 12 | | 14:40 ～ 15:00 | 近畿地方整備局におけるインフラDXの取り組みについて | 企画部 | 施工企画課 | 砂田 千佳 |
| | | 15:00 ～ 15:10 | 休憩 | | | |
| 13 | | 15:10 ～ 15:30 | 小学生と「港の大研究」！ | 舞鶴港湾事務所 | 総務課 | ○ 井川 裕揮<br>梶本 玲佳 |
| 14 | | 15:30 ～ 15:50 | 土砂災害啓発を目的としたRPG防災教育教材の開発 | 和歌山工業高等専門学校専攻科<br>和歌山工業高等専門学校 | エコシステム工学専攻<br>環境都市工学科 | ○ 西萩 一喜<br>辻原 治 |
| 15 | | 15:50 ～ 16:10 | 地元説明会における新型コロナウィルス感染防止対策について | 兵庫国道事務所 | 計画課 | 大谷 元斗 |
| 16 | | 16:10 ～ 16:30 | 河川空間のオープン化～有馬川を活用した賑わい戦略～ | 兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所 | 公園砂防課<br>管理課 | ○ 大地 洋平<br>植野 洋治 |
| 17 | | 16:30 ～ 16:50 | 治水事業における合意形成について | 兵庫県県土整備部土木局 | 港湾課 | 大西 貴也 |

# ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン 部 門

※1 連名の内、〇付は発表予定者

| No. | 日・時間 | | 論文名 | 論文作成者 所属 | | 氏 名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第1日目 6月24日（木） | 16:10 ～ 16:20 | 足羽川ダム本隊建設工事おけるDXの活用について | 道路部 | 交通対策課 | 佐久間 翔一 |
| 2 | | 16:20 ～ 16:30 | 無人航空機による災害初期の被災状況調査について | 近畿技術事務所 | 防災･技術課 | 畠山 則一 |
| 3 | | 16:30 ～ 16:40 | 紀伊半島大水害による河道閉塞箇所の湛水地埋戻し一部完了 | 紀伊山系砂防事務所 | 調査課 | 畑 忠実 |
| 4 | | 16:40 ～ 16:50 | 道路照明柱の老朽化対策について | 和歌山河川国道事務所 | 河川管理課 | 中村 柊哉 |

**【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】**

・咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮ください。
・取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
・入口付近に設置していますアルコール消毒液にて消毒後、入室をお願いします。
・取材中でのマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願い致します。
・うがい、手洗いの励行をお願いいたします。
・参加者への感染防止を考慮し職員はマスク着用等によりご案内させて頂きます。
・感染予防対策のため、1社につき1名とさせて頂きます。

**○カメラ撮影は6月24日(木)9:40～9:50開会あいさつ、6月25日(金)16:20～17:10審査結果発表・講評時・閉会あいさつ(大阪合同庁舎　新館A会議室)のみといたします。**
**○審査結果については、ホームページで公表いたしますが、希望者へは資料を配布いたします。**
**○報道用として写真データが必要な場合は以下の問い合わせ先に連絡いただければ提供します。**
**○視聴ついては、WEBでお願いします。**
**○取材を希望される方は、6月23日(水)15:00までに以下のいずれかの方法によりご連絡ください。**

**【電子メールによる申込み】**

メール本文に、①社名②氏名③連絡先(電話・メールアドレス)④取材希望(開会あいさつ／審査結果発表・講評・閉会あいさつ)を記載のうえ、(kkr-kinki-happyou@mlit.go.jp)までご送付ください。

**【FAXによる申込み】**

取材申込書に必要事項を記入のうえ、下記の宛先まで申し込み頂きますようお願いいたします。

「令和３年度近畿地方整備局研究発表会」取材申込書

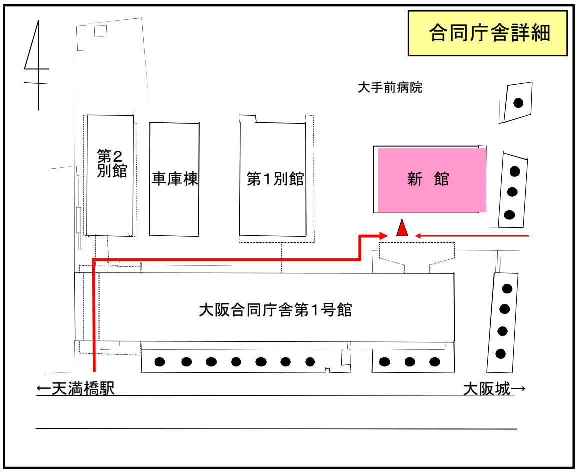
| |
|---|
| 送信先：近畿地方整備局 企画部 技術調査課 教習係　宛<br>ＦＡＸ番号：　０６－６９４２－７８２５ |

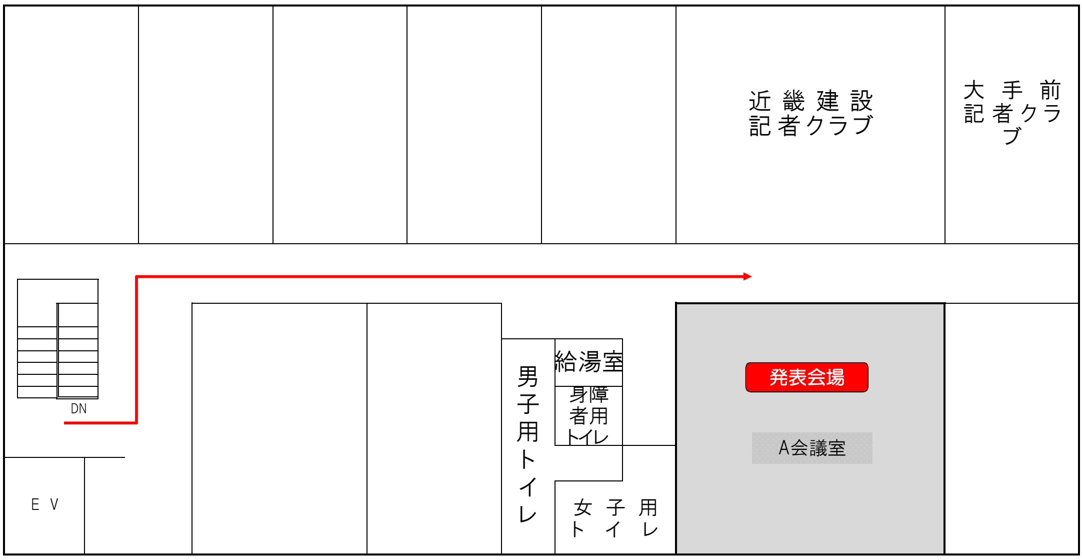
| | |
|---|---|
| ふりがな※必須 | |
| お名前※必須 | |
| ご所属（会社名）※必須 | |
| ご連絡先（TEL）※必須 | |
| ご連絡先（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ）※必須 | |
| 取材希望※必須<br>（○をお付け下さい） | 開会あいさつ　／　審査結果発表・講評・閉会あいさつ |

※送り状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXしてください。なお、お手数ではございますが、FAX送信後、受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡ください。

【受信確認先】　国土交通省　近畿地方整備局　企画部　技術調査課　教習係
ＴＥＬ：０６－６９４２－３８２６(直通)

# 位　置　図




# 会 場 平 面 図

**新館3階**